



第29号
 発行日 令和3年3月4日
 発行者 杉戸町スポーツ少年団
 広報委員会
 ☎ (0480) 33-1111

逆境を力に

輝かしい未来へ

杉戸町教育委員会 教育長
 伊藤 美由紀



杉戸町スポーツ少年団の皆様におかれましては、日頃より生涯スポーツの普及・発展ならびに青少年の育成に多大なるご尽力を賜り、深くお礼申し上げます。

また、卒団生の皆様には、長い間スポーツ少年団活動に熱心に取り組まれたことに対し、心から敬意を表すると共に、晴れて卒団を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。これまで仲間とともに歩んできたスポーツ少年団活動の経験を生かし、中学生として、さらに成長・活躍されることをご祈念いたします。

さて、二〇二〇年は年始めより新型コロナウイルス感染症が世界中で流行し、その影響で「東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会」が延期となったことに続き、全国・全県的なスポーツ大会等も中止又は延期となりました。当町におきましても、子ども達の健康・安全を第一に考え、約三か月間、小・中学校を一斉臨時休校としたほ

か、町民体育祭やマラソン大会等の各種イベントについても、感染リスクに鑑み、中止の判断をいたしました。また、イベントのみならず、マスク着用・消毒・三密回避など、当たり前であった日常生活にも大きく制限がかかりました。

一方、現在、社会全体が閉塞感に苛まれ疲弊した状況下でも、嬉しいニュースも数多くありました。地元高校として、県立杉戸高等学校のダンス部が全国大会で準優勝を収めたほか、昌平高等学校のバレーボール部、ラグビー部、サッカー部、女子陸上部(駅伝)、チアリーディング部も全国大会に出場し健闘したことは、喜ばしいことでした。

どの部活動においても、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動休止など、満足いく練習ができない状況だからこそ、できることを自ら考え、日々目標に向かって努力されていたと聞いております。そのような中、二年連続の全国大会出場となった昌平高校サッカー部が、一回戦で高川学園(山口県代表)と対戦したときのこと、試合終了残り十分で二点ビハインドとなりました。しかし、試合終了間際に二点を奪い同点に追いつき、PK戦の末、劇的な逆転勝利を収めました。惜しくもベスト8で敗退しましたが、逆境に立たされている中でも誰一人諦めることなく、必死にボールに食らいつき、試合終了のホイッスルが鳴るまでゴールを目指し続けたその姿勢は、人々に感動と

勇気を与えたことでしょう。

卒団生ならびに在団生の皆様には、今後、スポーツ活動のみならず、自分が思い描いた通りにいかない場合でも、下を向くことなく、前に進んでいただきたいと思えます。また、コロナ禍であっても工夫して、できることに一生懸命取り組み、夢・目標を決して諦めず、努力し続けてほしいと願っています。

結びに、杉戸町教育委員会といたしましたは、これからもスポーツ少年団の皆様とともに、スポーツを通じた子ども達の健全育成に取り組みでまいりますので、今後とも変わらぬご尽力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

一歩、一歩

頑張ろう

杉戸町スポーツ少年団 本部長
 大塚 国夫



杉戸町スポーツ少年団、指導者、母集団の皆様には、日頃より少年団活動の普及に多大なるご協力を頂き誠にありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により外出の自粛や学校の休校、スポーツ少年団の活

動休止等大変な一年でした。今こそ皆んな一丸と成り、練習に試合に頑張ろうと言う所でしたが、年末年始から感染者数が極めて高くなり、日本政府は一月七日、新型コロナウイルス感染拡大に備える改正特別措置法(新型コロナウイルス特措法)に基づき、緊急事態宣言を発令し、一月八日より発効されました。

スポーツ少年団の皆様、密閉、密接の三密の回避、ソーシャルディスタンス確保、マスク着用、こまめな手洗い、消毒、リククの高い場所を避け、仲間同士でも大勢集まる事を控えて下さい。さて、昨年のスポーツ界のニュースとして、私の嬉しかった事は、大相撲の照ノ富士が悶脇に復帰した事です。

照ノ富士は、大関に成った後、ケガで負け越し、一番下の番付、序二段まで落ちてしまいました。それでもやめず、体を治し練習をして、勝ち越し、幕内力士の最下位番付まで戻ってきました。そして、その場所で優勝しました。

おどろきましたね。すばらしかったですね。私も頑張るぞ、コロナなんかには負けないぞ、さあ明日から練習だ、そんな気持ちに成りました。

スポーツ少年団団員の皆様、令和三年も頑張ろう。最後になりましたが、学校、保護者、地域の皆様、スポーツ少年団に今後共にご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。卒団生の皆様、少年団活動よく頑張りました。卒団おめでとう。

杉戸サッカー



に、これからもサッカーをがんばりたいです。今まで本当にありがとうございました。

戸田 明 璃

ぼくは、サッカーを六年間やってきました。その六年間で楽しかったことやくやしかったことは、合宿にいったトレーニングやビンゴ大会をやったこと清水公園にいったことです。

ぼくはサッカーを始めて、たくさんのコーチに出会い、さまざまな教えを受け、仲間と成長しあいました。途中でくじけそうになった時もありましたが、続けてよかったと思っています。サポートしてくれたお母さん方にも感謝しています。この思いを忘れず

できてよかったです。これからもサッカーをがんばりたいです。六年間ありがとうございました。

杉村 愛 翔

ぼくはサッカーを始めて五、六年たちますがコーチや保護者の方々がたくさん支えてきてくれたおかげで成長できました。その支えてもらったことを無駄にしないように中学もがんばっていきたくです。六年間楽しかったです。

安藤 大 翔

ロータスカップや新人戦で負けたのがくやしかった。今の中一が六年生の時いろいろ教えてもらってディフェンスのしかたなどを教えてもらい、いいことを教えてもらった。いい六年を過ごせてよかったです。

齊田 陸 羽

みんなと楽しくサッカーが

諏訪サッカー



僕は、二年生の十二月に諏

訪サッカーに入団しました。サッカーを始めた理由は、みんなが楽しそうにサッカーをしていたから、そして、お父

さんもこの少年団でサッカー

をやっていたからです。最初は分からない事だらけでしたが、コーチや仲間達に教えてもらい、面白さや難しさが少しずつ学べました。試合で沢山ミスをしてしまったけど、シュートが入った時はやっぱり嬉しかったです。六年生に

なつてからは、ほとんど試合がなかったので残念でした。その分、練習を頑張った一年でした。その結果、骨折：。リハビリ頑張つて、中学でもサッカーを続けていきたいです。コーチや監とくのみなさん、ありがとうございました。

大塚 勝 也

ぼくが諏訪サッカーで学んだことは、あきらめない気持ちです。



なぜなら五年六年での試合でボロ負けでした、あまりにも負けていたのでもうだめだとあきらめかけていました。けど中島コーチが来ているいろいろなことを教えてもらって少しずつ勝てるようになっていったので、やっぱりあきらめなければかならずむくわれるんだなということがわかりました。

またこのあきらめない気持ち
を勉強などに生かしてい
きたいです。

佐々良 聖 伍

ぼくが、杉戸諏訪サッカー
に入団したのは二年生のとき
でした。このころのことはあ
まり記憶にないです。三年生
になるとパスやトラップ、ド
リブルなどの単純だけど難し
いものを感じてきました。

四年生になったら先輩が右サ
イドバックだったときに右に
よりすぎて「こつちじゃな
い。」と注意されたこともあ
りました。しっかり守備や攻
撃ができたときは、みんなほ
めてくれました。五年生にな
るとパスやトラップ、ドリブ
ル、シュートなどの色々な技
術が上がり点を取れるよう
になりました。六年生になると
コーチから、トラップする場

所などの技術を教えてもら
いました。チームの大切さや礼
儀などが身につきました。コ
ーチたちに恩返ししたいで
す。暑い日も寒い日もありが
とうございました。

白石 健一郎

私は、六年間諏訪サッカー
に入団していました。低学年
の時は、遊び感覚でやってい
ました。でも学年が上がって
いくにつれてコーチもどんど
ん厳しくなってきました。そ
の時は、練習を休みたいなど
思うほど辛かったです。でも
家族や団のメンバーの支えも
あってここまでやってこれま
した。六年生の秋ごろにオス
グットになってしまいサッカ
ーの練習を休むことがあつた
けど、冬季大会などの試合に
出られてよかったです。

諏訪サッカーでの楽しかつ

た思い出を忘れないように中
学もがんばりたいです。

濱田 萌 百



杉戸倉松サッカー



僕は、一年生からサッカー
を始めました。いずみサッカ
ーが休団となり、五年生から

倉松サッカーに入団しまし
た。六年生になり、僕はキャ
プテンに選ばれました。最初
は、どうすればいいか不安も
あつたけど、チームの皆に支
えられ、頑張ることができま
した。

宗 像 柊 磨

う気持ちになりました。
すてきな友達に出会えて本
当に良かったと思います。中
学校に行っても八年間学んだ
ことを活かしていきたいと思
います。

サッカーができる環境を作
っていただき、ありがとうございます
ございました。

六年間サッカーを通して学

んだ事を生かしていけるよう
に頑張りたいです。

柴 崎 龍 斗

僕は、年中から、倉松サッ
カーに入団しました。最初は
どうなるか心配だったけど、
六年生にたくさん助けてもら
いました。僕は、優しい六年
生になりたいと思いました。
僕が六年生になり、背番号十
をもらえた時はうれしい気持
ちと皆の為にがんばろうとい

れど、指導者のみなさまや仲
間たちのおかげでサッカーを
続けることができました。

二つ目は、協調性です。学

年の違う仲間とも協力してサ
ッカーをプレーすることがで
きました。ぼくにとつて、六
年間かけがえのない時間で
した。

福 田 習

初めてリフティングが百回できたのは、四年の夏で、とてもうれしかったことを覚えていますが。百回を目標に練習を積み重ね、四百回をこえる成績を残せました。努力と集中力の大切さに気付きました。また、色々な人にありがとうと伝えたいです。一緒にプレイしてきた仲間がいたら、ここまでサッカーを続けることができました。練習を教えてくださいました。いつも世話をしてくれた家族に感謝しています。

和田 結希也



杉戸レッドスターズ



ぼくが、野球を始めたきっかけは、兄がレッドスターズに入団していたからです。ぼくは約七年間このチームです。ごしました。

レッドスターズでは、野球

を通じ、たくさんの方々に学びました。特に大切に思ったことは『感謝』です。ぼくたちは、たくさんの方々に支えられて野球が出来ています。かんとかくやコーチ、両親、

試合時のしん判さん、他にも色々な方々に支えられています。そして一緒に野球をしてきたメンバーにも感謝をしています。

中学でも学んだことを忘れずに野球を続けていきたいです。今まで、ありがとうございました。

熊谷 鷹志

ぼくは三年間野球をやってきました。始めたきっかけは父です。なぜなら父の姿を見てぼくもこんなカッコいい人になってみたいと思いました。そして入団し、そこから約三年間勝ったり負けたりいろんなことがありました。ぼくがこの三年間でこんなに上達し、試合にも勝てたのは父、母、監督、指導者の人たちの応援などがありここまで上達しました。そんな感謝や応援

支えてくれた人達に元気などをあたえられるようにこれから先懸命に努力をし、必ずプロ野球選手になりぼくを支えてくれた人に恩返しができるような人間になってみせます。本当にぼくを三年間支えてくれた人、本当に感謝しています。ありがとうございました。

金嶽 文大

ぼくは、四年生の四月頃に入団しました。入団した時から、自分の上の学年はとっても優しいのであこがれの存在でした。今年自分が高学年となり、あこがられる存在となりました。他の六年生二人と協力して、チームを成長させていきました。特に印象が残っている大会は、東部大会です。なかなか出場できないこの貴重な大会にチームで出

場できたのは、うれしかったです、とてもがんばったという気持ちしかなかったです。結果は初戦敗退したけど、いい機会だったし、とても良い思い出になりました。二年間野球を続けてきて、協力する楽しさや勝つことのうれしさを学ぶことができました。このように、スポーツを通じて学ぶことがたくさんあります。これをどう生かしていくかで変わっていくと思うので、これからも野球やスポーツを続けていく中で、学んだことをどうこれに生かしていくかなどを考えながらプレーや練習をしていきたいです。

高木 賢斗



杉戸西サッカー



も仲間の大切さや、支えてく

れている人達への感謝を忘れ

ずに、色々な事に取り組んで

いきたいと思います。

園 田 真 央

僕は杉戸西サッカーに入っ

て挨拶などをしっかりする事

は感謝を礼儀で表すとても大

切な事なんだと教えられまし

た。学んだ事を忘れずこれか

らもがんばります。

並 木 駿 和

スポーツ少年団に入って良

かったと思う事は、クラブチ

ームと比べて練習や試合が楽

しいので入って良かったと思

いました。

本 間 璃 人

杉戸西サッカーに入り、私

は挨拶が誰にでも出来るよう

になりました。私が六年間続

けてこられたのは、コーチや

保護者の支えがあったのと、

仲間がいたからです。

吉 井 緑

僕は、サッカー少年団で三

年間活動し、コーチにはチー

ムプレーの重要性と技術を楽

しく分かりやすく教えてもら

ったことで、サッカーの楽し

さを知る事が出来ました。あ

りがとうございました。これ

からも頑張ります。

芳 林 翔 太

僕は四年生からサッカーを

始めました。そしてグラウン

ドに送ってくれるお母さん達

やコーチのおかげでサッカー

が出来ている事に気づきまし

た。中学校に入って部活が始

まり忙しくなっても、色々な

人に感謝して頑張りたいです。

和 田 隼 汰

私は一年生の時に倉松ジャ

ーズに入団しました。初め

は上手く団になじめなかつた

けど、優しい先輩に捕り方な

どを教えてもらい、難しい打

仲間と喜びあったのも思い出

です。

この六年間、代表、監督、

コーチ、母集団の方々、本当

にお世話になりました。今ま

での経験を生かし、中学生に

なっても全てのこと全力で

取り組みたいです。

峯 村 旋 冬

僕は二年生の時に入団しま

した。最初は、ルールなどが

全然分からなくて不安だった

けど、明るいチームで監督や

コーチが優しくしてくれて楽

しくて入りました。夏の旅行

も良い思い出です。

中学生になって生かしたい

ことは、ジャギーズで頑張っ

た声出しです。中学では、声

出しなら誰にも負けないよう

にしたいです。

大 沼 史 恩

野球というスポーツを初め

てから

家族のおかげです。これから



て知ったのは六年前の一年生の時です。それ以前は野球という存在すらあまり知りませんでした。野球に出会って六年間、色々な事を学びました。例えば「あいさつ」です。指導者や母集団に毎回「あいさつはちゃんとしろ」と指導されました。

あいさつとは、人に対する礼儀や態度で、とても大事な事だと知りました。残りの時間、集中して野球に取り組んでいきたいです。

泰 樂 陽 斗



堤根ブルービッキーズ

野球は、兄が入団していた



だけど、ぼくは卒団をむかえることができません。最後までやりとげられる事が、ぼくの自信になりました。

最後に今まで教えてくれたかんとか、コーチ、ささえてくれた母集団のみな様、送りむかえてくれたおかささん、今までありがとうございます。ざいだんせいのみな様いまままでいっしょに野球をしてくれてありがとうございます。

酒 井 直 樹



杉戸ジュニアテニス

去年から新型コロナウイルス

スが流行し、五年生で初めて



出られる予定だった全国大会もなくってしまいました。

みんなと一生懸命練習してきただけでとても悲しかったです。でも、そこから自分達で立て直して練習が再開した時から必死でがんばりました。そして今年の春、また全国大会に出場出来る事になりました。今まで自分を支えてくれた家族、杉戸ジュニアのコーチやみんなのためにも、中学校でもがんばりたいです。

徳 永 円 結

僕は、お兄ちゃんにすすめられて五年生の時に杉戸ジュ

ニアへ入団しました。杉戸ジュニアに入って、みんなと一緒に出した団体戦で賞を取れた事がとてもうれしかったです。テニスを通じてたくさんの友達もできました。お兄ちゃんやコーチに教えてもらった事を忘れないで、中学校でも頑張ります。

大 内 謙 伸

私は五年生のときに杉戸ジュニアに来ました。杉戸ジュニアでは、技術のことや、礼儀のことなど、たくさんのお話を学びました。私は今までたくさんの人に支えてきてもらいました。いつも送り迎えをしてくれたお母さん、応援してくれた仲間感謝しています。六年生になり、キャプテンをやりました。チームをまとめる事は大変でしたが、学んだ事を中学生でも、生か

していこうと思います。

三浦 はな

私は杉戸ジュニアに入団し、全国大会出場を目標に、一打一打大切に練習に打ち込んで来ました。そして、ようやく掴んだ全国大会の切符でしたが、コロナ禍で中止となつてしまい、とても残念な気持ちでした。そして、再び練習に打ち込む中、もう一度チャンスが訪れ、再び全国大会の出場権を勝ち取る事が出来ました。コーチや両親への感謝の気持ちを忘れず、日本一を目指し、これからも仲間と共に練習を頑張りたいと思います。

永田 在



杉戸西ドラゴンズ



西ドラでの六年間は本当に

楽しいことばかりでした。最後の一年は、コロナウイルスの影響で試合数の少ない中、東部大会で優勝することができました。監督をはじめ、コーチの方々の教えがあったからです。ありがとうございます。そして、みんなと楽しく野球をしたことは、ぼくにとってかけがえのない思い出

です。これからも、西ドラで学んだことを忘れずに中学校へ行っても頑張りたいです。

森田 佑樹

ぼくは野球を始めて、試合に負けたときのくやしさを勝ったときのうれしさ、苦しい時やつらい時には仲間の大切さを感じる事ができました。また、最初ボールを取ったり、投げたり、打ったりすることが難しかったけれど、

小島 颯斗

あきらめないで大好きな野球を続けていたら、どんどん出来るようになりました。それが出来たのは、監督やコーチのみなさんのおかげです。とっても感謝しています。中学生になってもがんばります。

並木 慎之介

杉戸西ドラゴンズでは、たくさんの人に野球を教えるもらいました。四年生の時に友

達に誘われて体験にいつてみたらみんな優しくしてくれて楽しかったです。五年生になりAチームのレギュラーになって最初は全然打てなくてエラーもして悔しかったけれど上手くなるために努力しました。六年生の最後の試合では負けてしまいました。いい試合ができました。これからも、もっと野球を好きになりたいです。

高野ジュニア
ソフトテニスクラブ



小川 翔乃介

ぶことができました。中学生になっても杉戸西ドラゴンズから学んだ事を活かして、何事にも全力で取り組んでいきたいと思っています。



私は、一年生で高野ジュニアに入団し、いろいろなことを学びました。ペアと協力し

て試合にのぞむこと、最後まで声をだしてあきらめないことです。元気いっぱい、全力で取り組むことは、とても

清々しい気持ちになりました。しかし、今年は、特に辛いことがありました。コロナの影響です。ソフトテニスが出来るように、新しい生活様式をふまえて最終学年を過ぎました。ソフトテニスが出来ること、感謝しています。

コーチ、監督、保護者のみなさんのおかげで、楽しい六年間でした。全国大会での活躍を皆さんに見せられなかったので、中学生になったら今以上に取り組み大活躍したいです。ありがとうございました。



加藤 結衣

杉戸西剣友会



て泣いたりしました。でも、先生達が優しくはげましてくれたので、楽しく学ぶ事ができました。私は、この杉戸西剣友会に所属していて、心から良かったと思えました。この剣道で得た、忍耐力や努力に活かしていきます。

金原 珠 里

私が剣道を始めたきっかけは、お母さんと一緒に体験に行った時に、面をつけてけいこをしている先ばい達は、とてもかっこよくて優しくて、私もそうなりたいと思ったからです。習い始めると、試合で勝てなかつたり、けいこで苦しく

と思ったからです。自分も三人のように、剣道を初めて見る人にとって、格好良いと思われる剣道をしたいです。中学生になっても、文武両道で頑張りたいです。

佐瀬 優 太

ぼくが西剣に入った理由は、入団ぼしゅうのはり紙を見て体験したときに、みんなが楽しそうだったので自分までもやりたくなってきたからです。

剣道で学んだことは、仲間

の大切さです。ぼくは、剣道がここまで上手になれたのは、仲間や先生がたのおかげだと思えます。それに剣道で継続は力ということも学びました。最初はついていけなかつたけい古も、回数をやればできるようになることも剣道で学びました。

先生がた、ありがとうございました。

須賀 悠 葵



教育委員会 社会教育課
スポーツ振興担当

☎0480-33-1111
内線493

